

# 本町の畜産振興対策をどう図るのか

## 国・県の施策をとり入れながら進める



宮本 昭一 議員

### 意識改革をこころよく

町長

母牛の更新や飼養管理について指導を進め意識改革をしていく。

### 推進方策の検討会を

宮本議員

肥料・飼料等の高騰や価格低迷で厳しい経営環境の畜産振興をどのように図っていくのか。

### 関係機関と一体で

町長

国・県の施策を取り入れ関係機関と一体となって守っていく。

### その打開策は

宮本議員

畜産農家代表と語る会で、本町の子牛セリ市価格が常に最下位という意見が出たが、どのような対応策をとったか。

### 今が踏ん張りどころ

町長

高齢化で規模縮小や経営の廃止が懸念される。需給の回復、低コスト生産を含め、今が踏ん張りどころだと思っている。

### 巡回指導は

宮本議員

高齢化を反映して今の市況ではやる気をなくしてしまいう心配がある。飼養頭数の維持に結びつく巡回指導をすべきだが。

### 多方面から支援

町長

多方面から支援できるように巡回指導していく。

### 畜産奨励金の引き上げは考えられないか

宮本議員

隣接市との間で支給額、

### 意見があれば検討

町長

曾於地区での足並みが必要であるという意見等が出てくれば検討する。



セリ市状況

### 素牛導入・保留対策等の引き上げは

宮本議員

優秀な素牛導入・保留を進め、町内に繋ぎ止めておくために、優良種畜導入・保留対策事業、繁殖雌牛更新対策事業等の補助額の引き上げはできないか。

### 継続的なやり方で

町長

高齢牛の更新対策は畜

振協議会等でも取り組んできた。導入補助金は、一括交付ではなく継続的なやり方で行いたい。

### 学校給食センターの管理と運営は

### 食材の調達と検収は

宮本議員

肉・魚・野菜等の地場調達可能なものや調味料等の調達方法と検収及び食材の返品状況は。

### 入札等で購入

教育長

大部分は、県学校給食会から購入し、生鮮食品等は、町内や近隣市町の業者から購入している。調味料や肉等は学期毎に入札し、旬野菜等は町内生産者から購入している。検収は職員が立ち会い、傷野菜等は返品している。

### 民間委託先は

宮本議員

新年度から実施予定の

調理と配送について、民間委託先は決まっているのか。

### 入札を経て

教育長

業者選定の準備をしており、今後入札を行う。

### 今後の全面委託につながるのでは

宮本議員

民間委託は、食材の調達や管理面まで含む全面委託につながるのか。

### 全面委託の考えはない

教育長

学校給食は、教育の一環である。すべてを業者に委託するという考えはない。



調理をする給食センターの職員